

早期景気観測調査

【4-5月期 調査結果概要報告書】

令和元年6月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 令和元年5月17日(金)～5月31日(金)
4. 調査対象： 当所会員136事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 93件
7. 有効回答率： 68.4%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【4-5月期の動き】

全体業況は4期ぶりに改善。全項目で改善するも人手不足感は増加。向こう3ヶ月の業況は、悪化の見通し。

4-5月期の全業種総合の業況DIは、▲16.1（前期比19.0ポイント）と4期ぶりに改善となった。売上DIも5期ぶりに改善し、採算DI、仕入単価DI、金融貸出しDIについても、それぞれ改善し、かつ従業員DIも4期連続で改善している。ただし、従業員については不足感が続いている。

向こう3ヶ月の先行き業況は、悪化する見通し。

業種別では、製造業、卸売業、建設業、小売業で改善し、サービス業で悪化であった。

製造業の業況DIは▲20.8（前期比21.3ポイント）と改善となった。売上DI、採算DI、仕入DIがともに3期ぶりに改善となった。従業員DIについても改善に転じた。唯一金融貸出しDIは横ばいとなった。

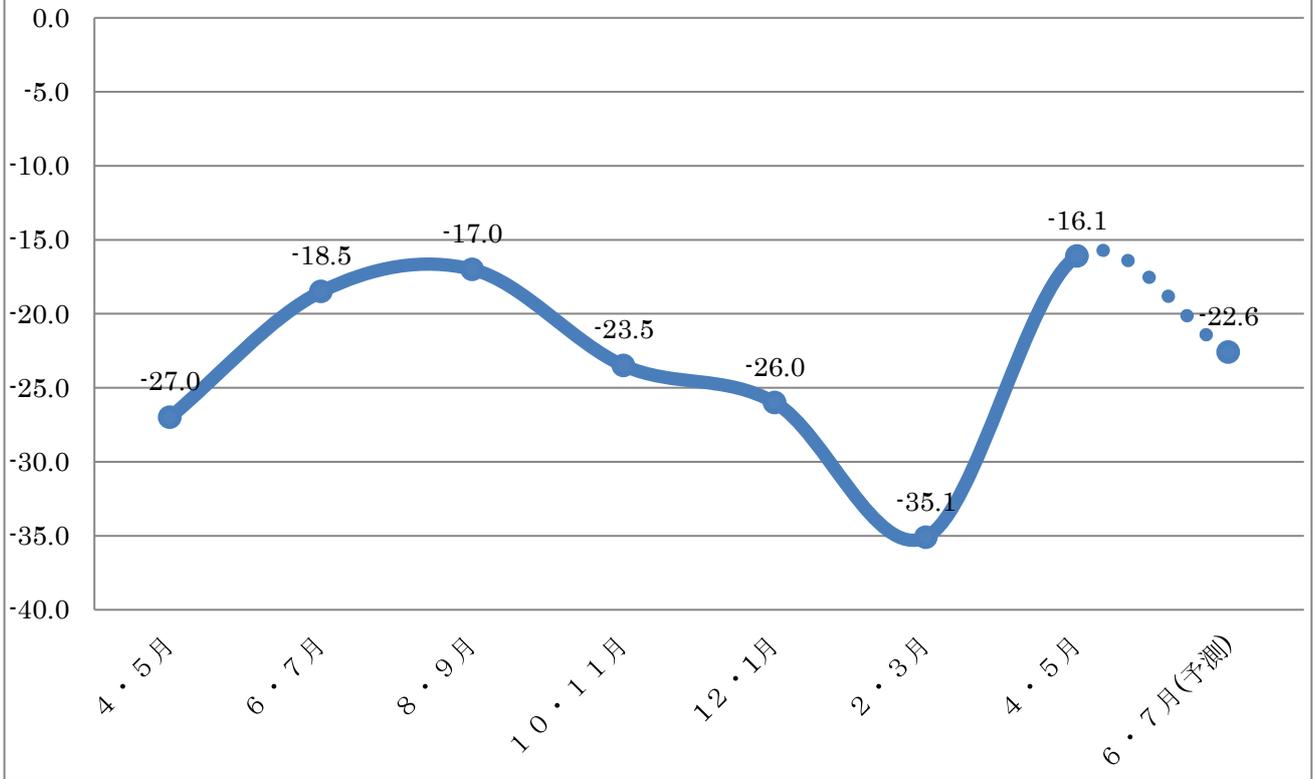
建設業の業況DIは▲6.3（前期比23.1ポイント）と改善となった。売上DI、仕入単価DI、金融貸出しDIがそれぞれ改善に転じた。一方で採算DI、従業員DIが悪化となった。

卸売業の業況DIは▲16.7（前期比13.3ポイント）と4期ぶりに改善となった。売上DI、仕入単価DI、従業員DI、金融貸出しDIが改善に転じた。一方で採算DIは悪化に転じた。

小売業の業況DIは、▲21.7（前期比34.8ポイント）と6期ぶりに改善となった。売上DIが3期連続改善となった。また、採算DI、仕入単価DIが2期連続改善となった。なお従業員DIは改善に転じ、一方で金融貸出しDIについては悪化に転じた。

サービス業の業況DIは▲8.3（前期比▲1.6ポイント）と悪化に転じた。売上DI、採算DI、従業員DIはそれぞれ3期ぶりの改善となった。一方で仕入単価DIは悪化に転じ、金融貸出しDIは5期連続横ばいとなった。

業況D I の推移



◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について

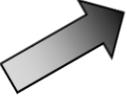
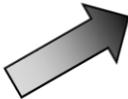
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

| 前回D I に比べて（先行は今回実績値に比べて） | | |
|---|---|---|
| 改善 | 不変 | 悪化 |
|  |  |  |
| D I 値 | D I 値 | D I 値 |

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「」（改善）と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |
| ▲16. 1 | ▲22. 6 | ▲14. 0 | ▲16. 1 | ▲37. 6 | 29. 0 | 1. 1 |

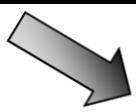
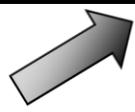
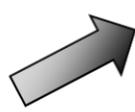
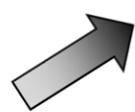
4-5月期の全業種総合の業況D I は、▲16. 1（前期比 18. 0ポイント）と4期ぶりに改善となった。

項目別では、売上D I（▲37. 2→▲14. 0）が5期ぶりに改善に転じている。また、採算D I（▲25. 5→▲16. 1）が3期連続改善となった。仕入単価D I（▲48. 9→▲37. 6）が改善に転じ、従業員D I（21. 3→29. 0）が4期連続で改善となった。金融貸出しD I（▲1. 1→1. 1）が改善に転じた。ただし、従業員については更に不足感が続いている。

向こう3ヶ月の先行き業況は、▲22. 6と悪化する見通し。

◆ 業種別

製造業

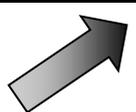
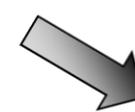
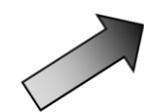
| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |
| ▲20.8 | ▲16.7 | ▲4.2 | ▲4.2 | ▲20.8 | 12.5 | 0.0 |

業況D Iは▲20.8（前期比21.3ポイント）と改善に転じた。

項目別では、売上D I（▲47.4→▲4.2）、採算D I（▲31.6→▲4.2）、仕入単価D I（▲21.1→▲20.8）については、それぞれ3期ぶりの改善となった。従業員D I（0.0→12.5）も改善に転じた。唯一、金融貸出しD I（0.0→0.0）は横ばいとなった。

向こう3ヶ月の業況は、▲16.7と改善する見通し。

建設業

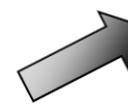
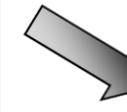
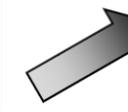
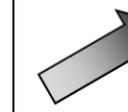
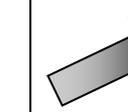
| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |
| ▲6.3 | ▲6.3 | ▲6.3 | ▲25.0 | ▲56.3 | 68.8 | 6.3 |

業況D Iは▲6.3（前期比23.1ポイント）と改善に転じた。

項目別では、売上D I（▲29.4→▲6.3）、仕入単価D I（▲82.4→▲56.3）、金融貸出しD I（0.0→6.3）のそれぞれで改善に転じている。一方で採算D I（▲17.6→▲25.0）は2期連続悪化であった。従業員D I（70.6→68.8）は悪化に転じた。

向こう3ヶ月の業況は、▲6.3と横ばいの見通し。

卸売業

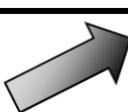
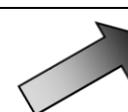
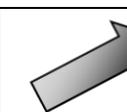
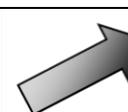
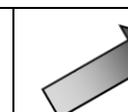
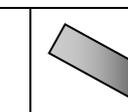
| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |
| ▲16.7 | ▲22.2 | ▲22.2 | ▲22.2 | ▲44.4 | 33.3 | 0.0 |

業況D Iは▲16.7（前期比13.3ポイント）と3期ぶりに改善となった。

項目別では、売上D I（▲25.0→▲22.2）が2期連続改善となり、仕入単価D I（▲55.0→▲44.4）従業員D I（20.0→33.3）、金融貸出しD I（▲10.0→0.0）がともに改善に転じた。一方で採算D I（▲5.0→▲22.2）は悪化に転じた。

向こう3ヶ月の業況は、▲22.2と悪化する見通し。

小売業

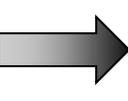
| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |
| ▲21.7 | ▲43.5 | ▲26.1 | ▲17.4 | ▲26.1 | 17.4 | 0.0 |

業況D Iは、▲21.7（前期比34.8ポイント）と6期ぶりに改善となった。

項目別では、売上D I（▲52.2→▲26.1）が3期連続改善となった。採算D I（▲39.1→▲17.4）、仕入単価D I（▲39.1→▲26.1）が2年連続改善となった。従業員D I（8.7→17.4）は改善に転じた。一方で金融貸出しD I（4.3→0.0）は悪化に転じた。

向こう3ヶ月の業況は、▲43.5と悪化する見通し。

サービス業

| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |
| ▲8.3 | ▲16.7 | ▲8.3 | ▲16.7 | ▲58.3 | 25.0 | 0.0 |

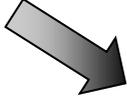
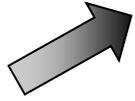
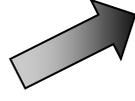
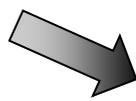
業況D Iは▲8.3（前期比▲1.6ポイント）と悪化に転じた。

項目別では、売上D I（▲26.7→▲8.3）、採算D I（▲33.3→▲16.7）、従業員D I（13.3→25.0）がともに3期ぶりに改善に転じた。一方で仕入単価D I（▲53.3→58.3）は悪化に転じた。金融貸出しD I（0.0）は引き続き横ばいとなった。

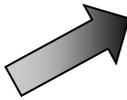
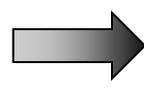
向こう3ヶ月の業況は、▲16.7と悪化する見通し。

◆ 業種別詳細

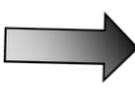
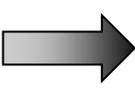
製造業（食品）

| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |

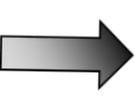
製造業（工業製品）

| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |

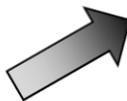
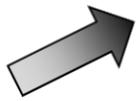
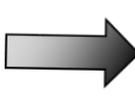
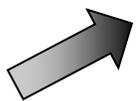
製造業（宝飾）

| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|--|--|--|--|---|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |

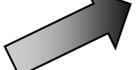
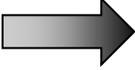
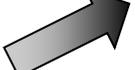
建設業（建築）

| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |

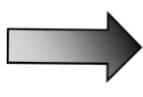
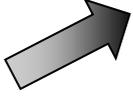
建設業（土木）

| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |

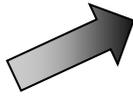
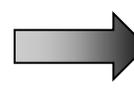
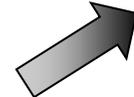
建設業（鉄鋼）

| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |

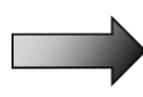
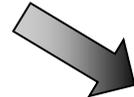
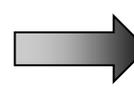
卸売業（食品）

| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |

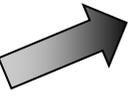
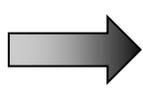
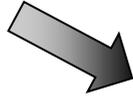
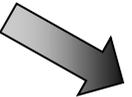
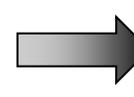
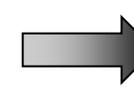
卸売業（繊維）

| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |

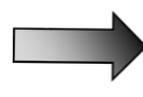
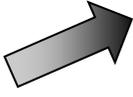
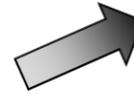
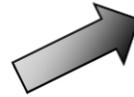
卸売業（その他）

| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|--|--|--|--|---|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |

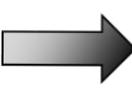
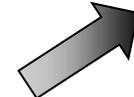
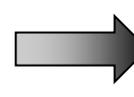
小売業（大型店）

| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |

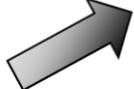
小売業（食料品）

| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |

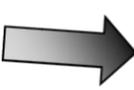
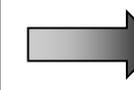
小売業（事務用品）

| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |

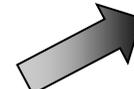
小売業（趣味・日用品）

| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |

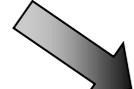
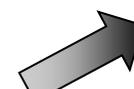
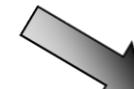
小売業（家電）

| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |

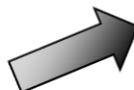
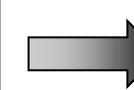
サービス（ホテル・旅館）

| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |

サービス業（観光）

| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |

サービス業（飲食その他）

| 業況 | 業況(先行) | 売上 | 採算 | 仕入単価 | 従業員 | 金融貸出し |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題）

【製造業】

製造業（食品）

- 売り上げについては昨年この時期に大幅に減少した。今年は原料販売を中心に回復。量販店、土産品店の新製品販売も相まってやや増加傾向。仕入単価は輸入原料の円高傾向が短期的にはプラス要因の見通し。年末のおせち料理の大口確定数が今後数値を左右する。

製造業（工業製品）

- 2月度水晶工業会統計実績は、生産実績、受注実績ともに前月に対し微増です。特に音叉型水晶発動子の受注実績は30%以上の伸びとなっている。
- 今年度は中国経済の減速による受注減、国内消費税増税による消費減退など前年より厳しくなる見通し。
- 公共発注案件が例年通りあるか不安がある。

製造業（宝飾）

- 10月の消費税増税による駆け込み需要は期待できない。消費税増税は当面凍結してほしい。

【卸売業】

卸売業（その他）

- 4月は例年より厳しいスタートだが6月より上向きの感じあり。

【建設業】

建設業（建築）

- 仕入に関してはメーカー・問屋が値段を決め、受注の関しては顧客が決める状況で厳しい。固定費は年々上昇していくが収支は思うようにいかない。

建設業（土木）

- 公共事業はまだ少なく、仕入単価は上昇し、採算は悪化。
- 業況は良くなっているが従業員不足の悩み続けている、責任感のある人材がいない
- 新卒者採用（技術系）が予定通りいかず、人材は高齢化。公共工事予算（県単位）は増加予定ですが、実施計画が不透明で受注見通し立たない。民間工事は競争が厳しく、専門業者の調達も難しく、工事も長期化でコスト高である。

【小売業】

小売業（趣味・日用品）

- 中心街の通行量は微増だが実感として感じられない、特に土日は酷い。物販は厳しさが続く。
- 今年に入り、借入金の返済額の見直しをおこなった。

- ・仕入先の商品配達に対する運賃の自己負担額が増加して仕入れ価格上昇の影響がある。
- ・中心街の人出が異常に少ない。

小売業（食品）

- ・商売を取り巻く環境の変化について行けず苦戦している。

【サービス業】

サービス業（ホテル・旅館）

- ・10連休前半は観光、ビジネス客とも増加、中般は観光客増加、連休明けから後半は両方共減少、5月後半は観光の1人旅で来県する客が目立った。

サービス業（観光）

- ・消費税増税をひかえ、仕入単価の上昇し収益悪化している。
- ・4月は前年比観光客が少ないため、売上減でした。5月上旬は例年より人出は多かったがGW以降は極端に減少した。

サービス業（飲食その他）

- ・鰻のシラス漁が過去最低で鰻屋は事業存続の瀬戸際に立たされている。
- ・中心街の飲食店舗は4・5月に春日モールで開催された「子供マルシェ」によって中心街に人出があり、売上増に貢献した。

以上

